

生きる力

(今月のタイトル・本文は尾幌中学校3年の畷名 佑亮くんが書きました)

編集後記

▼「味覚の秋」「芸術の秋」…。皆さんはどんな秋を過ごしていますか。私は「芸術の秋」を満喫するため、周囲の山々が色づき始めた紅葉の様子を撮りにいきました。モミジの木を大きく入れた写真に、人並みに撮れたかなと自己満足。いよいよ冬も間近。厚岸の食材のおいしさに圧倒され、今度は『食欲の冬?』になりそうです。(内柴)

▼「秋」と言えば皆さんはどんな言葉を連想しますか? 私は迷わず『食欲』を思い浮かべてしまいます。▼先日、山形県村山市からの派遣職員石川さん達と山形県の秋の風物詩『芋煮会』と北海道名物『ちゃんちゃん焼き』をしました。みんなでわいわいと楽しく食べていると、時間も量もついつい忘れてしまいます。食べた後にやっと『スポーツ』を連想するこの頃です。(大門)

▼尾幌小中の『キセキ』を感じたく学校祭へ。少ない児童生徒で一生懸命に取り組む姿に感動!▼感動を受けたのはもう一つ。学校敷地内の環境が実にきれいだった。気持ちよい一日を過ごすことができました。▼寒くなったので冷えた生麦酒から焼酎のお湯割りへ。最近ハマっているのは『芋焼酎』。あの香りがたまらない。(田崎)

ひとのうごき

- 人口/11,164人 (-8)
- 男/ 5,317人 (-6)
- 女/ 5,847人 (-2)
- 世帯/4,441世帯 (-2)
- 出生/ 3人 ●転入/16人
- 死亡/11人 ●転出/16人
- 外国人/95人 89世帯

9月30日現在 ()内は前月比

■発行/厚岸町
■編集/総務課広報情報係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>
携帯電話 <http://203.180.48.2>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp

間伐で未来につなぐ北の森
広報あっしは、環境保護のため
道産間伐材と古紙を配合した用紙
道産間伐材を使用しています。

町内小・中学校をリレーで紹介

学習指導要領の理念である『生きる力』
この『生きる力』をはぐくむため
学校ではさまざまな取り組みをおこなっています

第2回 厚岸町立尾幌小中学校

『キセキ』の尾幌小中学校

僕たちが学んできた尾幌小中学校は、今年度限りで閉校となる。

僕は、閉校になると聞いた時、驚いたのと同時に「やっぱりな」と思っていた。年々入学してくる人数が減ってきていたからだ。みんなも驚いていた。みんなこの学校が大好きだから、閉校になってほしくなかった。

僕たちは、人数が少ないながらもみんなで協力し合いたくさんの思い出をつくってきた。6月に行われた最後の運動会のテーマは『燃えよ!尾幌魂』。自分たちだけでなく、観客席に来てくれる卒業生の尾幌魂も一つになって運動会を成功させたいという思いで決定した。雨が降っていたけれど、グラウンドにいるみんなの心は熱く燃えていた。全員がバトンをつなぐ最終種目の紅白リレー。団長のかけ声で気合が入る。小学生がつかないできたバトンを中学生が受け継いでゴールラインへ向かう。み

んなの全力をのせて。ゴールの瞬間、勝敗には関係なくみんなが満足した。すでに雨雲は吹き飛ばされていった。小学生10人、中学生8人、計画、準備、競技、全員が全てに関わって作り上げた運動会は、みんなの心に深く刻まれた。

これまでもたくさん行事を、この運動会のように全員の手で創り上げてきた。人数が少なくなればその分もみんなで分担して。それが、尾幌小中学校の行事の誇りでもある。それを受け継いで今の僕たちがいる。そして、僕たちの集大成、学校祭のテーマは『キセキ』。

110年間、ここで積み重ねてきたこれまでの『軌跡』。その歴史ある伝統が『奇跡』につながる、素晴らしい学校祭にしたいという願いから生まれた。今はその準備の真っ最中。大好きな学校で行える最後の行事を、盛大に盛り上げるために全員が一生懸命頑張っている。この瞬間をともに歩むことが『キ



※最後の学校祭は10月18日に行われました

セキ』。学校はなくなってもこの『キセキ』は消えない。尾幌小中学校で学んだ証が『キセキ』となつて続いていく。
まよひや
我らの学舎ここにあり。